



議会だより

ていすかす

102号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2020.6.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ホームページで、議会の活動や各種情報をご覧いただけます

予算審査特集 令和2年度予算を問う

令和2年度各会計予算審査における質問数・委員数

会計	質問数	質問委員数
国民健康保険特別会計歳出・歳入	2	2
学校給食事業特別会計歳出・歳入	1	1
カルルス温泉スキー場事業特別会計歳出・歳入	3	2
水道事業会計歳出・歳入	1	1
下水道事業会計歳出・歳入	1	1
一般会計歳出・総務費	33	14
一般会計歳出・民生費	15	6
一般会計歳出・衛生費	8	7
一般会計歳出・労働費	1	1
一般会計歳出・農林水産業費	8	7
一般会計歳出・商工費	15	12
一般会計歳出・土木費	14	8
一般会計歳出・消防費	5	4
一般会計歳出・教育費	23	11
一般会計歳出・給与費	1	1
一般会計歳入全般	1	1
総括質疑	2会派	3
合計	132 2会派	82

令和2年第1回定例会において、3月17日～19日及び23日の4日間、予算・決算委員会（予算審査）を開催し、令和2年度の予算関連議案の審査を行いました。

委員17名から132項目にわたる質疑の後、総括質疑を行い、審査は合計で19時間47分に及びました。

その結果、一般会計予算、各特別会計予算及び各事業会計予算をすべて全会一致で可決しました。

令和2年度

予算審査の概要

令和2年第1回定例会において、予算・決算委員会に付託された「令和2年度各会計予算」9件（全会計で375億2千460万円）については、資料要求のための委員会を行うとともに、3月17日から4日間にわたり、慎重な審査を行いました。

初めに、議案第7号「令和2年度登別市一般会計予算」について、歳出に關しては各款ごとに、歳入は全般にわたり、それぞれ質疑を行い、2会派からの総括質疑終了後、合計で218億2千

令和2年度当初予算を

全会一致で可決

500万円を全会一致で原案のとおり可決しました。

次に、議案第8号「令和2年度登別市国民健康保険特別会計予算」、議案第9号「令和2年度登別市学校給食事業特別会計予算」、議案第10号「令和2年度登別市介護保険特別会計予算」、議案第11号「令和2年度登別市カルルス温泉スキー場事業特別会計予算」及び、議案第12号「令和2年度登別市後期高齢者医療特別会計予算」、以上5つの特別会計については、歳入歳出全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、合計で104億2千880万円を全会一致で原案のとおり可決しました。

次に、議案第13号「令和2年度登別市水道事業会計予算」、議案第14号「令和2年度登別市下水道事業会計予算」及び、議案第15号「令和2年度登別市簡易水道事業会計予算」、以上3つの公営企業会計については、収支全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、合計で52億7千80万円を全会一致で原案のとおり可決しました。

審査にあたり、各委員からは、各事業における目標や取り組みへの質疑に加え、課題や今後のあり方など具体的な提案もありました。

（天神林）

予算・決算委員会（令和2年度予算審査）総括質疑、各委員の質疑

総括質疑

過去20年で

最も厳しい財源状況

市民・前進

初めに令和2年度予算編成の特徴を確認し、市税収入の収納率や各種使用料・手数料など、受益者負担のあり方などについて伺いました。

2億2千万円の財源不足を、北海道市町村備荒資金組合超過納付金の取り崩しで補てんする点については、「4年連続の取り崩し・補てんであり、過去20年で最も厳しい状況と認識している。基金の確保は10億円を目安と考え、予算執行段階で基金を積み増すため、歳出圧縮と歳入確保に努める」との答弁でした。

新型コロナウイルスの影響により、地域経済や消費行動が衰退し、思うように歳入が見込めないと思われる点については、「入湯税など一部見込むも、現時点では収束が見通せず、その影響を見定めるのが難しい状況である」との答弁でした。

そのほか、市職員の業務量と勤務状況の把握や改善、本市の未来像と市制施行50周年記念事業や各種事業の将来ビジョンとの関連性についての考えや、市長任期3期12年の成果の認識など、市政全般にわたり市の考えをただしました。

（二瓶・千田）

*災害による減収を補てん、または災害応急復旧事業等に伴う費用に充てるための積立金に関する事務を共同で処理する組合で、道内全179市町村が加入している。

総括質疑

財政状況と

コロナウイルスへの対応策は

市政クラブ21

総額218億2千500万円の予算をどのように捉えているか。

【答】 消防支署など大型事業が一段落し、昨年より2億9千500万円減少した。また、歳入は市税の増加とふるさと納税の増収が見込まれるなどの要因で、財源不足額は昨年比2億8千万円の減額となったものの、市税増加の主な要因は、4月からの入湯税超過課税分を除けば1%程度の見込みとなる。

【質】 実質的の地方交付税も前年から減となり、約2億2千万円の財源不足が生じており厳しい予算編成であった。

【質】 新型コロナウイルス感染症拡大による財政運営への影響は。

【答】 予算編成には、中国での感染症拡大の影響は多少見込めたが、この度は見込みをはるかに超えた状況であり、市税収入への影響も見込まれる。

【答】 歳出でも今年度からすでに財政支出が発生しており、次年度以降もさらなる支出が見込まれる。

【答】 収束期は、市内消費や観光対策に一定規模の財政支出が見込まれる。市内事業者及び市民への支援体制は、強い危機感を持って受け止めている。

（杉尾）

国民健康保険均等割の現状は

【質】 本市の国民健康保険被保険者のうち、18歳以下の人数と世帯数は。

【答】 608人で365世帯である。

【質】 全道における本市の均等割額の順位は。

【答】 全道35市中、額の高いほうから6位となっている。

【質】 子育て世帯にとっては大きな負担となっているが、子どもの均等割額の減免は、本市で実施しているのか。

【答】 本市では実施していないが、国に対して要望している。

（佐々木）

下水道処理場施設の修繕は

【質】 予算計上されている修繕は、計画的に実施されているのか。

【答】 運転管理受託者が運転状況を監視する際、機械などに異常があることが判明したとき、その都度報告を受け、優先順位を付け計画的に実施している。

【質】 機械などの異常をどのように見つけているのか。

【答】 各機械の電流値計測や動作確認、異音や振動の有無など、日常的な点検に基づき予防保全的な修繕を実施し、大きな事故を未然に防いでいる。

（井野）

組織力のさらなる向上を

【質】 組織力の強化として、職員間のコミュニケーション能力を高めることや組織の全員が共通認識を持つことができる研修を行うことが重要と考える。具体的な研修内容として、職員全員を対象としてハラスメントに関する研修を行う考えは。

【答】 ハラスメントに関しては、現在管理職向けの研修となっている。職員全員が受講するには、時間的な問題もあり、今後は長期的に考えた受講者の拡大を検討していく。

（伊藤）



予算・決算委員会（令和2年度予算審査）各委員の質疑

衛星パラボラアンテナの更新は

質 市役所前に設置の衛星パラボラアンテナの更新に伴い、「北海道総合行政情報ネットワーク」を災害時などの非常事態に備えて活用できるように、北海道へ働きかけていくべきではないか。

答 災害時の活用に関しては、情報セキュリティの観点から、ほかのネットワークとの接続や回線の解放は行わないとの回答があったが、このような意見があったことを、北海道に伝えていきたいと考える。

（田中）

共生社会ホストタウンの成功を

質 2020東京オリンピック・パラリンピックにおける、デンマークとのホストタウンからさらに進化した、共生社会ホストタウンの認定申請中とのことだが、認定後の取り組みは。

答 国の支援を受けながらパラリンピックのさらなる普及や、障がいに関する理解促進に取り組む。

※ノーマライゼーションの発祥国であるデンマークとの共生社会ホストタウンの取り組みにより、本市の共生社会のレガシーとなるよう訴えました。

（今野）

※障がいのある人が障がいのない人と同等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会を目指すという理念



生徒を派遣する際の選考方法は

質 多文化共生推進事業は、中学校5校と登別明日中等教育学校から、各1名計6名をサイパンに派遣するものだが、その選考方法は。

答 各学校の定員を超える応募があった場合は、学校ごとに抽選を行う。

質 抽選で選考とのことだが、より熱意のある生徒を選考するためには、書面審査とすべきと考えるが見解を伺う。

答 選考方法に関しては不断の検討を行っているが、今後も意欲のある生徒を派遣できるよう検討していく。

（小栗）

社協補助金・児童クラブ運営経費ほか

社会福祉協議会補助金では、同協議会からの要望内容を質問し、これらについて相互に理解できる協議の実施を求めました。

放課後児童クラブ運営経費では、利用料減額の影響や、児童への公平・安全性及び利便性の観点から、幌別東小学校への設置について伺いました。

不法投棄等防止経費では、啓発やパトロール強化、市民相談の状況を確認し、私有地への投棄があった際の対処方法に関して質問しました。

（杉尾）

本市における消費者被害の状況は

質 市民の方から消費者被害に関する相談を受けることがある。

答 本市における被害状況については、昨年4月から本年2月末までに寄せられた相談件数は206件で、すべて解決済みとなっている。

相談者の7割が60歳以上の方で、架空請求に関する相談が66件と多く、傾向として高齢の女性が狙われていること。また、20代若者の被害の特徴として、ダイエットサプリなどの定期購入により、高額な請求となる相談が多い。

（村井）

鉄南ふれあいセンターの快適度が向上

アイヌ協会の重要な活動拠点で、市内の主要な集会施設及び避難所でもある鉄南ふれあいセンターが、安全・安心に活用できるよう整備されます。

設置から34年が経過したボイラーは、重油からLPガスに変更されます。メリットを確認すると、ボイラーの寿命が長くなる、CO2の排出抑制が図られる、災害時のガス供給が行える、燃料費が削減になるなどがあります。

また、以前から要望していたトイレが、3階の一部を除き洋式化されます。

（千田）

保育所待機児童急増に早期対策を求める

出生数が減少する一方で、ライフスタイルの変化により保育所の入所希望者数は増加傾向です。これまで年度初めの待機児童数はゼロでしたが、令和元年度初めに32名の待機児童が発生。

また、本年1月時点で59名の待機児童が発生しており、新年度以降も待機児童解消の見込みがないことが確認されました。主な要因は深刻な保育士不足にあることから、具体的に事業予算化した対策を取るよう求め、今後検討が進められることになりました。

（辻）

予算・決算委員会（令和2年度予算審査）各委員の質疑

自殺防止対策の具体的な取り組みは

本事業費は、平成31年度の予算額約250万円から約3倍の720万円が予算措置されており、財源のほとんどは北海道からの支出金ですが、その事業内容について質問しました。

主な内訳としては、自殺多発地付近の巡回警備の委託料約430万円と、登別溪谷駐車公園付近の監視カメラ設置料約270万円です。

また、昨年度より巡回警備を開始したからの当該地での自殺は、1件も発生していないとの答弁がありました。

（若木）

若年者キャリアカウンセリングの現状は

質 新型コロナウイルス感染症問題で、企業への内定取り消しや解雇が報道されているが、本市で事例が起きた場合、地元経済の事情に詳しい職業訓練協会の協力を得るべき事を検討すべきではないか。

答 市内の専門学校、高校では、今のところ内定の取り消しや解雇の事例はない。

求職希望者のニーズに答える取り組みを行っていく。

（渡辺）

鬼花火が内閣総理大臣賞受賞

質 本年「地獄の谷の鬼花火」が、ふるさとイベント大賞最高賞である「内閣総理大臣賞」を受賞したが、記念イベントなどは考えていないのか。

また、新型コロナウイルスが収束した際の取り組みについては。

答 鬼花火は、地域資源を組み合わせ、宿泊増につながっている点など総合的に評価されたものだが、記念イベントは検討していない。新型コロナウイルスが収束した際は、多くの観光客にお越しいただけるよう検討していく。

（二瓶）

安全に使用できる公園管理を

質 平成23年に策定された「都市公園施設長寿命化計画」の中で、これまで遊具の改築を行った公園数と遊具数は。

答 平成23年度から令和元年度までの9年間で、35公園において136基の遊具改築を実施している。

質 まだ改築できていない遊具の維持・管理は。

答 1年に1回の定期点検、1カ月に1回の日常点検を行い、異常があった場合、必要に応じて補修を行うなど、適切な維持・管理に努めている。

（足立）

消防本部建て替えの進捗状況は

事業実施にあたり、埋蔵文化財の調査結果や、市民要望の実現の可能性、統合によって職員の充足率は改善されるのか質問しました。

2回の調査の結果、文化財等は確認されませんでした。要望のあった市民が利用できるスペースの確保は、東支署と同規模を検討しており、統合により、現在61・8%の充足率が70%以上になることが見込まれ、新庁舎建設に向けて滞りなく計画が進行するよう鋭意努力するとの答弁がありました。

（米田）

中学校部活動の新たな取り組み

平成29年に、中・高等学校において部活動の技術指導や大会引率などを行う部活動指導員が制度化され、本市では本年度から、市内中学校の部活動に3名の指導員が配置されます。

質 中学校の部活動は、今後どのように発展していくのか。

答 将来的に、地域クラブへの移行や地域との連携・役割分担、他校との合同部活動の実施など、質の高い部活動を実施できる体制を整えていく。また、そのための計画策定を予定している。

（宮武）

岡志別の森運動公園事業効果拡大要望

現状においても限られた予算の中で、適切な施設の維持管理・運営にご尽力いただいておりますが、さらなる事業効果を上げるためには、市民要望への対応や検討、魅力ある施設とするための工夫が必要と考えます。

市民の健康増進、交流人口や関係人口の拡大、地域経済の振興、市内への波及効果など、地域に貢献する施設になるものと思います。事業効果の拡大という視点で、コースの増設等発展的な検討を促し、見解を求めました。

（成田）

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか？

令和2年第2回定例会は、6月12日（金）から開会する予定です。

本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンでご覧いただけます。

新型コロナウイルスの感染防止のため、できる限り議場での傍聴はお控えいただき、スマートフォンやパソコンにより議会中継をご覧いただくよう、ご協力をお願いいたします。

皆様からのご意見をお聴かせください！

gikai@city.noboribetsu.lg.jp

問い合わせ

議会事務局（☎09220）